

令和7年度 第1回石狩市浜益区地域協議会議事録

【日 時】 令和7年4月23日（水）18:00～19:10

【場 所】 石狩市浜益支所2階 庁議室

【資 料】

- 1) 会議次第
- 2) 令和8年度以降の地域自治区振興事業8浜益地域づくり基金)について
別紙令和7年度地域自治区振興事業について
- 3) 新たな地域おこし協力隊について
- 4) 新しい地域おこし協力隊（広報記事）
- 5) 石狩市浜益支所機構図（令和7年4月1日）
- 6) 浜益いっぺかだれやの会の内容メモ
- 7) 浜益区地域協議会 今後のスケジュール（案）について
- 8) 荘内藩ハママシケ陣屋プロジェクト2025年度企画（案）
- 9) はまますベース（チラシ）

【出席者】 10名（14名中）

役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠	役職	氏 名	出欠
委員	渡邊 隆之	○	委員	渡邊 真奈美		委員	細田 幸男	
委員	木村 武彦	○	委員	羽立 裕子		委員	鬼塚 建次	○
委員	青山 侑太	○	委員	坂本 賢哉	○	委員	柿岡 奈々絵	
委員	鳴海 翔	○	委員	笹森 仁美	○	委員	久慈 麻結	○
委員	佐藤 晃一	○	委員	徳地 克実	○			

（本 庁） 大川企画課長、吉田主査、上原主査（企画課）

（支 所） 宇野支所長、木澤市民福祉課長（併 浜益学校教育課長、浜益社会教育課長）
高田保健福祉担当課長（兼 はまます保育園長、診療所庶務課長）

（事務局） 柿崎課長、佐藤主査、川村主査、小貫主査

（集落支援員） 川村集落支援員 （地域おこし協力隊） 成田隊員、西川隊員

【傍聴者】 1 名

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - ・ 地域おこし協力隊の着任及び令和7年度浜益支所及び関係部局の体制について
- 4 協議事項
 - ・ 令和8年度以降の地域自治区振興事業について
 - ・ 地域おこし協力隊の募集について
- 5 その他
 - ・ 第10期地域協議会の今後のスケジュールについて
 - ・ いっぺかだれやの会について
 - ・ 荘内藩ハママシケ陣屋イベントについて
 - ・ はまますベース見学会について
- 6 次回の開催日程について
- 7 閉 会

1 開 会

【事務局】

本日は、お忙しい中お集まり頂き、誠にありがとうございます。ただ今から、令和7年度第1回浜益区地域協議会を開会いたします。はじめに、会長からご挨拶申し上げます。

2 会長あいさつ

【渡邊会長】

— 会長あいさつ —

【事務局】

渡邊会長、ありがとうございました。それでは、会議に入ります前に、委員の異動についてご報告いたします。3月で退任された岡本俊介委員のご後任として、北石狩農業協同組合理事の青山侑太さんに第1号委員、公共的団体から推薦された方として委嘱いたしました。地域協議会の規定上15人以内となっている定数に対して、14人の委員となっておりますことをご報告いたします。ここで、新たなメンバーとなられました青山委員から、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

— 青山委員あいさつ —

【事務局】

ありがとうございました。それでは会議を進めさせていただきます。なお、本日の会議は出席委員が14名中8人と過半数に達していますので、成立していることをご報告いたします。それではこの後の進行を、渡邊会長よりお願いいたします。

3 報告事項

- ・地域おこし協力隊の着任及び令和7年度浜益支所及び関係部局の体制について

【渡邊会長】

それでは、報告事項に入ります。報告事項、地域おこし協力隊の着任及び令和7年度浜益支所及び関係部局の体制について報告をお願いいたします。

【宇野支所長】

— 支所長あいさつ —

私の方から、地域おこし協力隊の着任及び令和7年度浜益支所及び関係部局の体制についてご説明申し上げます。まず、地域おこし協力隊として、4月1日より2名着任しました。お手元に広報いしかりに掲載予定の記事をお配りしております。プロフィールなどについてはそちらをご覧ください。まず1人目、西川海斗さんです。2人目は成田誠也さんです。ミッションとしては、ゆくゆくは地域の交通機関の運転業務を行いながら、持続可能な地域の交通サービスについて取り組みます。では一言ずつ挨拶をお願いします。

— 西川隊員あいさつ —

— 成田隊員あいさつ —

【宇野支所長】

続きまして、新年度からの浜益支所及び関係部署の組織と異動のあった管理職の紹介をさせていただきます。お手元に配布の組織図をご覧ください。浜益支所としては、診療所を含み支所長以下28名体制で令和7年度の業務をとり進めて参ります。次に、新任の管理職職員、及び本地域協議会を担当する地域振興課職員の自己紹介をさせていただきます。浜益支所地域振興課長の柿崎です。浜益支所市民福祉課長の木澤です。浜益支所市民福祉課保健福祉担当課長の高田です。浜益支所地域振興課地域振興担当主査の小貫です。浜益支所地域振興課地域振興担当主査の佐藤です。浜益支所地域振興課地域振興担当主査の川村です。

— 浜益支所職員あいさつ —

【宇野支所長】

また、関係部署につきましては、添付の機構図2ページのとおり、はまます保育園は子育て推進部のほか、建設部、水道部、教育委員会が関係しており、それぞれ職員が配置されております。以上で、浜益支所の組織及び職員紹介とさせていただきます。なお、資料の機構図につきましては、4月1日より運用開始することとなった、石狩市コンプライアンス基本方針の策定及びカスタマーハラスメント対策に基づき、職員の名札も名字のみ表記に変更になった観点から、今回の協議会資料として市のホームページに掲載する際には、職員の名字のみを記載した機構図を掲載する予定でありますのでご了承ください。お配りした資料も、お手元限りとしていただきますようお願いいたします。

続きまして、本庁において過疎計画、地域協議会、協力隊、支援員等を所管する企画課についても異動がありましたので担当職員を紹介します。企画課長の大川、主査の吉田、上原でございます。大川課長、ひとこと挨拶をお願いします。

【宇野支所長】

企画課につきましては、所用のためここで退席させていただきます。

【渡邊会長】

追加で報告事項があるとのことですが、事務局お願いします。

【事務局】

事前に案内掲載しておりませんでした。地域協議会に代わる新しい組織の条例案についてです。口頭でのみご報告いたしますが、現在、前回の地域協議会でまとめていただいた提言書を提出、条例の内容の検討に入っております。前回、厚田区では委員の人数を10名で提言しており、その部分について、調整させていただく可能性があるとお伝えしておりましたが、今後の委員の確保の問題、スリム化し運営しやすい組織ということを鑑み、10名で進めさせていただければと考えておりますのでご報告いたします。

【渡邊会長】

スリム化して運営しやすく10名になりますが、委員の皆様、いかがですか。

【徳地委員】

これまでの議論で、奇数にしなければならないという意見があったと思います。

【渡邊会長】

他の審議会等でも偶数を定数にしているところが多く、奇数にこだわる必要はないようです。よろしいでしょうか。

【徳地委員】

わかりました。

4 協議事項

・令和8年度以降の地域自治区振興事業について

【渡邊会長】

協議事項に入ります。まずは令和8年度以降の地域自治区振興事業について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

お手元の協議事項1資料をご覧ください。令和8年度以降の地域自治区振興事業についてです。令和7年度については、この2本、区民カレンダー制作事業と、浜益区水産物普及プロジェクト事業を実施予定です。金額は合わせまして2,230,000円となっております。こちらの金額を引きますと、令和8年3月末時点での基金の残りは「18,695,000円」となります。こちらの残りの基金を今後どうしていくのがよいのか、9月末までにご検討いただいて、次期第11期の協議会委員の皆様への引継ぎ事項の中に盛り込んでいただきたくお願いいたします。まず、区民カレンダーにつきましては、昨年度からも協議会の中で話題に出ておりましたが、印刷費の高騰により価格も上がっております。また、広告料についても、毎年新規開拓しておりますが、なかなか各事業者様のご負担が重たくなっているようで、現状を維持していくのが難しくなっております。事務局としましては、現在のカレンダーの形をやめ、例えばですが、毎月、翌月分をA3サイズで印刷して広報と一緒に全戸配布する、というやり方もあるかと思えます。こちらについては、カレンダーの実行委員会の方でも検討が必要な部分ではございますが、まずはカレンダーがそもそも必要か、というところからご議論いただければと思います。

また、浜益区水産物等普及プロジェクトについては、浜益ふるさと朝市、みなと祭りなど、観光資源として、また地域の皆さんのためにという思いでプロジェクトを実施、地域活性を担っていただいております。継続のご要望も声が上がっていますが、基金の残りもだいぶ心細くなっている部分もあり、どのように継続していくのがよろしいのか、漁協青年部の皆さんともご相談させていただきながら、検討していけたらと考えております。

もちろん、いずれの案件も、今日この場のみで決められませんので、後程ご説明しますが、協議会の今後のスケジュールも踏まえ、9月末の任期満了までに方向性を決めていただけたらと考えております。さらに、新たに何か有用な使い道などありましたらご提案もいただけたらと考えております。もちろん今日この場で決めていただくことではなく、別にまた勉強会の実施も必要と考えております。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

【渡邊会長】

ただいま説明のありました事項について、確認や質問等ありますか。また、まずは皆さんの率直なご意見をうかがいたいのですが、いかがでしょうか。

【徳地委員】

カレンダーについては無料配布せずに販売してはどうでしょうか。

【笹森委員】

カレンダーは続けて欲しいが、こんなに立派なカレンダーでなくてもいいのでは。昔の写真のカレンダーより、今のカレンダーの写真の方が私は好きです。

【鳴海委員】

区民に好評なのであればカレンダーは販売して継続した方がいいと思います。

【事務局】

これまでの経過をお話すると、浜益村時代は無料で配布していました。一度、自治会に半分負担してもらって発行したこともあります。合併してから地域づくり基金から補助金をもらって発行していますが、実行委員会の通帳には現在数万円しか残っていない状況です。

【渡邊会長】

今日、この場で結論を出す必要はないので、他の方法などありましたら提案してください。また、水産物普及プロジェクトについてはいかがでしょうか。

【鳴海委員】

現在、花火の費用が300万円かかっているので、花火の規模を小さくするなどして開催することは可能だと思います。

・地域おこし協力隊の募集について

【渡邊会長】

いろいろ知恵を出し合っていければと思います。それでは、次の協議事項、地域おこし協力隊について説明をお願いします。

【事務局】

お手元の協議事項資料2、「新たな地域おこし協力隊の募集について」をご覧ください。1月に実施した、令和6年度第5回地域協議会の報告事項の中でお話しておりましたが、協議会委員の皆様のご意見をいただきながら、ミッションや卒業後のシミュレーションを重ね、募集要項を決定していきたいと考えております。検討が必要な事項といたしましては、まずはミッションの明確化。今年度は公共交通のミッションで任用しておりますが、もうフリーミッションは難しいということは前々から出ております。また、人材についても、現在の地域課題に則した人材、こんな人材が欲しい！という地域の声をもとに検討できたらと考えております。資料下段に、あくまで一例ですが、掲載しております。ここに書きたいずれも、浜益では課題として共通の認識となっているかと思えます。最新の数字で、浜益区の高齢化率は57.43%となっております。また、前の9期の委員の皆さんのう総括の中にも、福祉施設等の担い手不足が課題として挙げられています。

また、本日追加で資料を配布しております。まずこちらの「地域おこし協力隊活動領域マップ」です。こちらは、協力隊として活動していくにあたってのミッションをわかりやすく見える化したものです。左へ行くと社会課題、右へ行くと経済、上はオールマイティ型、下へ行くと専門分野のミッションというかたちになります。1つだけでなく、この中の複数にまたがってもよいかとも思えます。そしてもう1点、いっぺかだれやの会第1回の中で出た参加者の皆さんの思いをまとめたものです。黄色でマークしている部分、今後のまちづくりのヒント、キーワードとなるのではないかと考える部分です。このあたりも検討の材料をしていただけたらと考えています。他にも地域の課題、さまざまありますが、その洗い出しをどのように行うのか、更に協力隊卒業後も見据えながら、どういうミッションがよいのかご検討いただきたく存じます。こちらにつきましても、この場だけでなく、別の機会も設けた方がよろしいかと考えております。また、ふと思いついたご意見なども随時お知らせいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【渡邊会長】

ただいま説明のありました事項について、確認や質問等ありますか。こちらについても、皆さんの率直なご意見をうかがいたいのですが、いかがでしょうか。

【徳地委員】

事務局として取り組んでいる浜ワークは地域おこし協力隊とは違う方法で浜益に定住してもらう玄関口となっています。このほかにも、商店を立ち上げる、酒屋をオープンさせる、岩崎養魚場跡で小水力発電をする、淡水で養殖事業をする、ブルーカーボンで昆布をつくるなど様々な企画に取り組んでいるので、正直、仕事が回らなくなっているのが現状です。また漁協青年部でも、水産庁が推進している海業というプロジェクトにも手上げをしていて、海での体験プログラムなど漁業以外の所得を生み出す事業を石狩湾全体で取り組むことになり、規模が大きくなりすぎてしまい身動きが取れない状況になっています。浜益での働き方として、先ほどの資料、地域おこし協力隊の活動領域マップの一番下の部分、一次産業を基本の収入源として月15万円から20万円、副業としてまちづくり活

動で月3万円から5万円を想定したイメージを持っています。私のように漁師をやりつつ、まちづくりに関わってくれる人がいればありがたいと思っています。

【坂本委員】

農業分野について浜益では、果樹、米、肉牛とあり、どれも教えるのが現状です。都市部では少量多品目を農水省が推奨していて、5反や1反あれば300万円から500万円の収入が得られるとされていますが、現実、市場を探すのは難しく、SNSをうまく活用できる人がきてくれるといいと思います。また、わかもん会メンバーも7割が1次産業に従事していて、会のイベント企画などいくつも担当を兼任している状況で、会の活動に専念してやってくれる人が2、3人いればいいと思います。農業は冬場の仕事がないので、1年通して収入が確保できるプランが確立できれば浜益に呼び込みしやすいのではないのでしょうか。

【徳地委員】

農家の人で税理士を取ってくれる人がいると助かります。

【坂本委員】

長沼町で行政書士を取ったという協力隊の話聞いたことがあります。

【渡邊会長】

ほかに、子どもの居場所づくりについてはどうでしょうか。

【徳地委員】

浜益コミセンで週1、2回、学童保育ができればいいと思います。

【鬼塚委員】

今ある放課後子ども教室には、かなりの人数の子どもが来ているので居場所があればいいですね。

【渡邊会長】

次回も引き続きご意見いただければと思いますので、皆さんよろしくお願いいたします。

5 その他

【渡邊会長】

それでは次に「その他」です。皆さんからこの場を使って連絡事項や話題提供等ありませんか。

・ いっぺかだれやの会について

【事務局】

資料なく口頭でのお知らせとなりますが、今年度第1回のいっぺかだれやの会を5月8日18時から予定しております。詳細は月末にチラシを全戸配布する予定です。お時間ありましたらご出席のほど、よろしくおねがいいたします。

・ 朝市について

【鳴海委員】

朝市が先週から始まりました。寒かったですが、ものは売れました。400人くらい来場がありました。

・ 酒屋オープンについて

【徳地委員】

酒屋がオープンしました。生ビールなどイベントある時は配達します。できれば取りにきてください。場所は元歯医者です。

・ 第10期地域協議会の今後のスケジュールについて

【事務局】

では、私から、お手元に今後のスケジュールについてお配りしております。協議会等の開催時期については、多少流動的ではございますが、このように考えております。前回、提言書をまとめたいただいた、地域協議会に代わる新たな組織の条例案の今後の動きについてです。6月ごろに石狩市の条例としての案をご提示しますので、8月頃までにご検討いただきたくお願いいたします。その内容を元に、市民参加手続きに基づき9月にパブリックコメントを実施、11月には総務常任委員会へ報告し、12月の第4回定例市議会に上程する予定です。そして、みなさまの委員としての任期が9月末までとなっております。7月くらいから第11期の委員の推薦依頼、公募を開始していきたいと考えております。あわせて、10期委員の皆様から11期委員の皆様への引継ぎ事項の検討、10期の総括の検討もお願いできればと考えております。スケジュールについても、随時更新して共有していきたいと思っています。

・ 荘内藩ハママシケ陣屋イベントについて

【川村集落支援員】

集落支援員の川村です。私のミッションの中に「浜益の伝統文化を後世に伝える」があり、地域に残る竹籠作りや、しめ縄づくりの映像の記録もしてきました。今後日の目を見られればと思います。今日は3年目を迎えた「荘内藩ハママシケ陣屋プロジェクト」の今年度計画についてお知らせPRさせていただきます。ねらいはプリントにあるように（読み上げさせていただきます）「荘内藩ハママシケ陣屋の歴史と陣屋跡の存在を発信し後世に伝えると共に、研修会活動の活性化とネットワークの拡大を図る。浜益の歴史遺構や伝統芸能を資源とし、北石狩（厚田・浜益ですが）に人を呼び込み関係・交流人口を増やす。」ことにあります。今年はまず6月10日から一か月間7月10日まで、道の駅にて『陣屋特別展』を開催します。6月29日（6月最終日曜日）には「陣屋展示解説と、陣屋跡のガイドツアー」を行います。2年目となった昨年は43名の参加があり好評でした。

次に今年初めての企画として6月12日「市民カレッジ」主催講座として、白老から仙台藩元陣屋資料館長様をお迎えして、荘内藩陣屋研会長とダブルで『北を護った藩士たち』と題して講座を開催する運びとなりました。

3番目としては、昨年も行った「市民図書館での特別展示」、これは時期調整中ですが計画を立てています。

4番目は、昨年初めて実施した札幌紀伊国屋書店でのトークイベントを10月18日午後開催します。今年のテーマは陣屋特別展示と同じく『荘内藩ハママシケ陣屋が残したもの』です。「開墾」「経済改革」そして川下神社の奴道中や神楽などの文化芸能について、砂丘の風資料館の工藤学芸員と陣屋研会長のトークを計画しています。

最後にその他をご覧ください。皆さんもご存じの ezorock のメンバーが浜益の資源としての歴史に興味を示してくれました。今後の陣屋整備や作業などに加わっていただきながら歴史の理解をしてもらおうと考えています。陣屋研メンバーも高齢化課題があり、ezorock に限らず区外からの協力、支援、継承人材の確保につなげられればと思います。

また白老には「仙台藩元陣屋友の会」という民間団体があり、昨年来交流を深めています。全道の陣屋のネットワークづくりも見据えているところです。川下に伝わる神楽のルーツの本家に当たるのが庄内の松山地区にある「中北目神楽」です。先日来交流を深めています。

北まち協の支援をいただいている本プロジェクトですが「陣屋の幟（のぼり）」も作ってみたいと盛り上がっているところです。まずは6月道の駅にお立ち寄りの折には、二階展示室を見ていただければ幸いです。

・ はまますベース見学会について

【事務局】

前回の協議会で「はまますベース」について、ezorock の活動拠点である旧助役住宅を見学したいというお話がありました。ezorock さんが見学会を企画してくださいました。5月10日午後1時から4時までの間、開放しまして、中で活動写真を見れたり、お茶が飲めたりするようです。近隣の皆様にもチラシをお配りしましたので、ご興味ある方はよろしく願いいたします。

6 次回の開催日程について

【渡邊会長】

それでは最後に次回の開催日程について、事務局からお願いします。

【事務局】

次回の地域協議会は6月を目途として開催したく存じます。協議内容としましては、本日お示した基金の使い道、協力隊の募集要項の検討をお願いしたく存じます。協議会及び、勉強会の日程調整につきましては、改めてご連絡をいたしますので、よろしくお願いいたします。

7 閉 会

【渡邊会長】

それでは、以上を持ちまして第1回地域協議会を閉会いたします。長時間、お疲れ様でした。

令和7年5月16日 議事録確定

石狩市浜益区地域協議会

会長 渡邊 隆之